

# メディカルバレー 推進事業の進捗状況

## 産学官民連携・研究開発の促進

### ●みえメディカルバレーフォーラム2008の開催●

医療・健康・福祉産業に関わる県内外の産学官民が一堂に会し、講演などを通じて情報の共有を図るとともに、交流会を通じて人的なネットワークを広げています。

▶みえメディカルバレーフォーラム2008(平成20年8月8日開催 150名参加)

基調講演 「人は何故病気になるのか」 東京大学名誉教授 黒木 登志夫氏	●「みえメディカルバレーの取組と成果」 ●「今後みえメディカルバレーが目指す姿」 ● 知事からのメッセージ「美し国・三重の常若」
--	--

### ●みえメディカル研究会●

大学・公設試験研究機関を中心とした、医療・健康・福祉産業分野での産学官民参加型の研究会で、産学官民が連携することにより、新たな研究開発・技術開発が促進されることを目指しています。現在計 11 研究会で活動しており、会員数は延べ700名超となっています(研究会全体の運営は、株式会社三重ティーエルオーに委託)。各研究会の活動内容は、メディカルバレープロジェクトHP(<http://www.mvp.pref.mie.jp/kenkyu/>)をご覧ください。

平成 20 年度みえメディカル研究会(会長 三重大学・奥村克純 副学長)

No.	研究会名	研究会主査
1	生物資源有効活用研究会	三重大学(生物資源学研究所) 荒木利芳 教授
2	医用工学研究会	三重大学(工学研究科) 稲葉忠司 准教授
3	福祉用具・ものづくり研究会	三重大学(工学研究科) 池浦良淳 教授
4	三重ゲノム創薬フォーラム	三重大学(医学系研究科) 田中利男 教授
5	メディカル創薬研究会(旧・知的財産研究会)	三重大学(医学系研究科) 西村訓弘 教授
6	薬事研究会	三重県医薬品研究センター 池田淳一 センター長
7	電子システム研究会	三重大学(工学研究科) 鶴岡信治 教授
8	みえ尾鷲海洋深層水利用促進研究会	三重大学(生物資源学研究所) 前田広人 教授
9	センシング技術実用化研究会	三重大学(生物資源学研究所) 橋本篤 教授
10	健康ツーリズム研究会	三重大学(教育学部) 雷輝健二 准教授
11	統合医療研究会	鈴鹿医療科学大学(鍼灸学部) 佐々木和郎 教授

## 創業・新事業創出の支援

### ●福祉用具製品化支援事業●

三重県身体障害者総合福祉センター内に設置した「みえテクノエイドセンター」を中心に、大学や研究所、企業などと協働して、高齢者や障害者にあった福祉用具や自助具の開発、住宅改修支援などを行う他、利用者のニーズ収集や共同開発を行っています。

- みえ福祉用具フォーラム2008(平成20年12月17日)
- 福祉用具アイデアコンクール(募集期間:平成20年7月1日～10月24日、応募数187点)
- 福祉用具セミナー(計5回、20時間)
- 企業が製品化した福祉用具への助言・モニタリング
- みえメディカル研究会へのニーズ提供及び製品開発助言

### ●三重県健康福祉ビジネスサポート(KBS)●

健康・福祉に関して新たな製品やサービスを展開しようとする事業者を対象に、この分野に関して幅広い知識、ネットワーク、そして実績のあるコーディネータやアドバイザーが、事業者の課題にあわせた販路開拓方法・販売促進方法について、効果的で即効性のある助言・支援を行います。

▶H20 年度 KBS 採択事業(10件)

- サービス関係(5件)  
高齢者の在宅配食サービス&安否確認、納豆をテーマとした「まちの駅」事業など
- ものづくり関係(5件)  
登録商標「足やすめ安濃津ばき」、ルッフ(こども用食器)と陶器絵付け体験など

▶H20 年度 KBS サポート内容

- 企業訪問
- 事業展開にあわせて、担当コーディネータがマンツーマンで事業をサポート。
- 定期的な面談で、事業展開を助言。
- 個別相談会(8/27、10/31、1/21)の実施。
- リーディング産業展みえ2008(四日市ドーム)に4社出展(1社個別出展)

### ●健康・福祉ものづくり研究開発補助●

健康・福祉分野の研究開発を促進するため、大学等研究者や公設試験研究機関と共同で研究を実施する事業者に対して補助を行う事業で、公募の結果、本年度は2件を採択しました。

No.	採択申込事業者	研究テーマ	共同研究の相手先
1	富士電機サーモシステムズ(株)	加熱蒸気を利用した滅菌効果の検証	鈴鹿工業高等専門学校(生物応用化学科)
2	中外医薬生産(株)	口中崩壊錠における主成分(薬効成分)の舌味マスキング技術の開発	三重県工業研究所 医薬品研究センター

## 企業誘致の促進

農水商工部企業立地室、東京・大阪事務所と協働して、この分野の企業へのPR・誘致活動を行っています。

## 情報提供の充実

### ●メディカルバレー通信・HP等からの情報発信●

メディカルバレー推進事業の総合情報の発信を目的に、メディカルバレー通信13号(10月1日)、14号(3月1日)の発行とともに、4つのHP(8頁参照)、メールマガジン(平成20年度19回発行見込)により情報提供を行っています。

### ●展示会に出展してのPR●

- 「第7回産学官連携推進会議」に出展(平成20年6月14日～15日、京都)
- 「第7回国際バイオEXPO」に出展(平成20年7月2日～4日、東京)
- 「Bio Japan 2008」に出展(平成20年10月15日～17日、横浜)
- 「JETRO BIOLINK FORUM 2008」に出展(平成20年10月16日、横浜)
- 「リーディング産業展みえ2008」に出展(平成20年11月7日～8日、四日市)

## 推進体制の整備

県内産学官民組織を代表する役職員で構成する「みえメディカルバレー推進代表者会議」、産学官民関係者による事業推進組織である「みえメディカルバレー企画推進会議」等を開催しました。また、医療・健康・福祉産業分野の経験豊かな人材をメディカルバレー推進サポーターとして、14名(薬事分野10名、健康・福祉分野4名)を委嘱しています。医薬品研究センターで相談を受けた企業に対し、サポーターを派遣し、サポート・アドバイスを行っています。

## 薬系人材の確保・育成

県内企業、薬局、病院等の薬系技術者確保のため、県薬剤師会が運営する薬剤師無料職業紹介所で総合的な斡旋を行っています。また、県外薬科大学の訪問や、大学が主催する企業説明会への出展など三重県出身者への情報提供を進めるとともに県庁でのインターンシップ受け入れを進めています(インターンシップU・I・Jターン支援事業)。

- 大学訪問(平成20年6月～平成21年1月 関西6大学、東海・北陸4大学)
- インターンシップの受け入れ(平成20年8月18日～22日、2名、三重県庁)
- 企業説明会に出展(平成21年1月15日:名城大学)

## 臨床治験体制の構築への展開

県民への高度先端医療や良質な医療の提供をめざし、関係機関と連携して迅速で質の高い治験の実施を支援しています。

### ●みえ治験医療ネットワークの推進●

ネットワークシステムの調査・研究を三重大学に委託し、みえ治験医療ネットワークシステムを推進しています。

- 臨床試験・治験の地域拠点「治験・医療クラスター」の構築に関する調査・研究

### ●治験コーディネータの育成・確保●

治験ネットワークの円滑な運営を行うための治験コーディネータ(医師と協力して治験計画の管理、インフォームドコンセントを得るなど、治験全体を調整する役割を担う者: CRC)を育成します。

- CRC治験事務局担当者研修会
- 治験講習会

### ●治験協力者・県民への情報提供及び普及啓発●

- 治験推進シンポジウム(平成20年12月12日、三重大学 参加者120名)
- 治験の解説及びアンケート実施(平成21年1月26日～30日、三重大学医学部附属病院 523件)

## バイオ産業の創出

県内の豊富な天然資源や大学等の研究ポテンシャルを活用した研究開発促進や大学発・企業発バイオベンチャー支援を行うことで、県内に医療・健康・福祉産業の主たるシーズ提供産業となるバイオ産業の創出をめざします。

### ●天然資源の活用支援●

平成15年度～19年度に実施された天然資源活用調査の成果を地域振興につなげるため、地域ごとに関係者が意見交換を行う連携会議やセミナーを開催しました。

- 天然資源活用地域連携会議(平成20年6月～10月・尾鷲市、伊勢市、津市、四日市市)
- 天然資源活用セミナー(平成21年2月12日・熊野市、平成21年3月・伊勢市で開催予定)

### ●バイオ関係研究開発●

#### ア バイオ関係研究開発(委託事業)

事業者と共同で研究を行う大学等研究者に対し、メディカルバレーにおけるバイオ産業の創出・振興につながるような研究テーマを公募のうえ委託する事業で、今年度は3件を採択しました。

No.	提案者(所属)	研究テーマ
1	西川政勝(三重大学)	新規抗血小板薬のテラーメイド医療技術開発の探索的研究
2	勝崎裕隆(三重大学)	ゴマリグナンの細胞周期同調剤への基礎的並びに応用研究
3	生貝初(鈴鹿工業高等専門学校)	シャクヤクの機能性有用成分を定着させた健康にやさしい織布を製造するプロセスにおける技術的課題を解決する方法の研究

#### イ バイオベンチャー産学官共同研究(補助事業)

高等教育機関や公設試験研究機関と共同で研究開発を実施するバイオベンチャー事業者に、その研究開発に掛かる経費を助成する事業で、公募の結果、今年度は3件を採択しました。

No.	採択申込事業者	研究テーマ	共同研究の相手
1	(有)細胞外基質研究所	IgA腎症の系統的診断を目指す新規分子素材の開発	三重大学大学院医学系研究科
2	(有)上野屋	メタボリックシンドロームや脂肪性肝炎などの病態解消を目指した新食感のこんにやく製品	三重大学教育学部食物学・調理科、医学部附属病院 栄養指導管理室
3	(有)バイン・メディテック	三重の伝統薬(生薬製剤・丸薬製剤)の研究・開発	鈴鹿医療科学大学 東洋医学研究所

## 医工連携開発の促進

事業者と共同で研究を行う大学等研究者に対し、医工連携型医療機器類の研究テーマを公募したうえ委託する事業で、今年度は2件を採択しました。

No.	提案者(所属)	研究テーマ
1	辻川真弓(三重大学)	リアルな感触で低価格な筋肉内・皮下注射モデルの作製
2	吉村哲郎(三重大学)	細菌及びウイルス感染症に対するリポソームワクチン自動製造装置の完成

## 国際交流・連携への展開

海外の医療・健康・福祉分野との産学官連携を促進し、企業間や大学間などの技術連携や企業誘致、投資などを活性化させるため、ピオコンパレー(ドイツ)及びメディコンパレー(スウェーデン、デンマーク)など海外バイオ関連産業クラスターとの企業・大学間の連携・交流を、日本貿易振興機構(ジェトロ)と協働して引き続き実施しました。

また、昨年度に引き続き、ジェトロが実施する地域間交流支援(RIT)事業の支援を受け、中国と日本との企業・大学による技術連携や業務提携など相互協力体制の構築を目的に、産学官で組織するミッション団を中国(瀋陽・天津地域)に派遣するとともに、中国から有力企業や有識者を招へいし、連携・交流を深めました。

- 中国(瀋陽・天津地域)にミッション団を派遣(平成20年10月22日～29日) 参加者: 29名
- 中国有力企業・有識者を招へい(平成21年2月16日～20日) 招へい者: 有力企業2社、有識者

## 知財活用の促進

### ●みえメディカルバレー知的財産活用促進事業●

大学や中小企業等のシーズの特許化促進と大学等が所有する未利用の特許の企業への移転促進を支援することで、知的財産を企業経営に活かした事業活動を活性化させ、大学発ベンチャーの創出など新産業創出と既存企業の競争力向上を図ります(シンクタンクへ委託)。

相談窓口・知財ホームページ ▶<http://www.mie-mvp-jp.net/>

## 海外地域間交流の促進

### ●外国人研究者活用研究開発プロジェクト●

海外研究者と県内産学官の研究者との交流を深めることを目的として、北米での視察・面談などを行いました。「BIO2008 サンディエゴ」においてメディカルバレーの国際的な周知や交流を行うほか、統合医療推進の参考とするため、アリゾナにある大学内の統合医療研究所、カナダのリトリート施設を訪問し、世界的権威 Dr.Andrew Weil 氏との面談を行いました。

- カナダ・米国視察(平成20年6月13日～21日) Hollyhock(リトリート施設)視察/Dr.Andrew Weil氏宅訪問・面談/BIO2008 サンディエゴ視察/アリゾナ大学訪問・面談

また、ドイツのピオコンパレーとの交流が継続されるように、ピオコンパレー企業情報の収集や連絡窓口業務を、ジェトロベルリンに委託しています。

- ドイツ・ピオコンパレーの企業動向をHP(<http://www.mvp.pref.mie.jp/>)に掲載

## 人材の育成

### ●メディカルバレー創造的人材育成●

大学等研究者と共同で、かつ高度専門人材育成を中心として研究開発をする事業者に対し、そこでの人材育成(事業者が大学院生を研究の主担当者とする、あるいは事業者自身が大学院に在籍すること※)に掛かる経費を補助する事業で、公募の結果、今年度は3件を採択しました。

※該当カリキュラムは別途定めてあります。

No.	採択申込事業者	テーマ	共同研究の相手
1	ロート製薬(株)	抗肥満素材の検討	三重大学大学院 医学系研究科
2	デリカフーズ(株)	ヒト疾患モデルの薬理ゲノミクス研究	三重大学大学院 医学系研究科
3	(株)ジェネティックラボ	非翻訳型RNA(non coding RNA)可視化による先進的診断技術の研究開発	三重大学大学院 生物資源学研究所

## メディカルバレー知的拠点の支援

大学のサテライトラボや薬系大学・バイオ系学部等の設置など医療・健康・福祉産業分野の知的拠点整備の取組を支援することとともに、県内企業や大学の知的ポテンシャルを向上させることで、産学官民連携体制の強化や研究開発機能の充実と集積を進め、新産業の創出や新事業への展開を促進します。

### ●知的拠点整備支援●

鈴鹿医療科学大学・薬学部開設に伴い、鈴鹿地域のネットワークを充実するため、調整会議を開催しました。また、伊賀地域においては産学官連携伊賀研究拠点の開設に向け、三重大学等とともにフォーラムを開催しました。

### ●知的拠点活性化支援●

国等の競争的研究資金などの獲得にむけた複数企業や産学官民連携型の新連携・コンソーシアム組織による研究会の設置・運営に対して費用の一部を補助する事業で、公募の結果、今年度は3件が採択されました。

No.	採択申込事業者	テーマ	コンソーシアム名
1	(株)医用工学研究所	病院情報システムに蓄積された診療情報を対象とした医療データマイニング手法に関する研究開発	電子カルテと連動した次世代型EBM支援システムの開発
2	(株)アーリー・ハード	糖尿病、生活習慣病等の改善・予防のためのツアー「ウエルネスの旅」に関する意識調査・コンテンツ開発	「ウエルネスの旅」推進コンソーシアム
3	(株)WAAA	科学的評価法を活用した代替医療の評価・商品開発、および三重における統合医療事業の推進	三重統合医療事業推進プロジェクト